

研究課題名	CPEスクリーニング培地「コロエアガ - mSuper CARBA/ESBL分画培地」の基礎的検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 臨床検査部 微生物検査室
研究責任者(職名)	木下 史修
研究期間	2017年9月28日～2018年3月31日
研究目的と意義	保菌チェックの為に導入した、「コロエアガ - mSuper CARBA/ESBL分画培地」(関東化学)を用いて、細菌学的、及び3薬剤(CAZ、LMOX、TAZ/PIPC)の感受性成績との関連性について検討する。
研究内容	●対象となる患者さん
	2016年9月から当院で培養検査を行い、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(GRE)が分離された患者さん。
	●利用する情報
	分離菌の薬剤感受性情報
	●研究方法
	分離菌をスクリーニング培地に培養し、発育傾向と薬剤感受性成績との関連性を検討する。
問い合わせ先	<p>所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所：長崎市新地町6番39号</p> <p>電話：095(822)3251 (内線4122)</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)</p>

研究課題名	骨髄異形成症候群（MDS）の画像判定システム開発
所属（診療科等）	長崎みなとメディカルセンター 臨床検査部
研究責任者（職名）	栗山 一孝（臨床検査部長）
研究期間	2017年 5月 2日 ～ 2019年 3月 31日
研究目的と意義	骨髄異形成症候群（MDS）の診断には、細胞の形態異常を判定することが決定的な基準となっていますが、細胞の形態を適正に評価するためには長い経験が必要です。この研究により、熟練した医師・臨床検査技師の不足による診断の遅れや、検査する者による結果のばらつきがなくなり、検査精度が向上することが期待されます。 ※この研究は当院倫理審査委員会（平成29年5月2日）の承認を受けています。
研究内容	●対象となる患者さん 骨髄異形成症候群の患者さんで、2017年5月2日～2019年3月31日の間に診療のため採血検査を受けた患者さん
	●利用する情報 診療目的で採血が行われ、血液検査が実施される際に作製される「末梢血塗抹標本」を使用します。これは、血液のごく一部（数滴程度）を専用のガラス板に塗布したもので、通常の検査において用いられるものです。この研究のためだけに検体を採取することはありません。また、標本は完全匿名化して研究に用いるものとし、標本がどの患者さん由来のものなのか、誰にも分からないようにして使用します。
	●研究方法 当院で骨髄異形成症候群（MDS）と診断された患者さんの末梢血塗抹標本を用いて、代表研究機関である熊本大学医学部付属病院において、顕微鏡で細胞画像を撮影し、専用装置にて多数の画像を取り込みます。この細胞画像の中からMDS特有の形態異常を有した腫瘍細胞を自動で判別し、診断を支援するシステム（診断サポートソフトウェア）の開発を目指します。
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095（822）3251（内線4122） 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）

研究課題名	尿沈渣10倍気釈法の有用性についての検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 臨床検査部
研究責任者(職名)	浦壁 順一郎 (主任技師)
研究期間	2018年4月20日～2019年1月31日
研究目的と意義	尿沈渣検査を実施するに当たり赤血球や白血球などの細胞成分が多い場合、それらの細胞成分により検出すべき他の成分が隠されたり見えづらくなったり、また染色されるべき成分が染色されず、見落とされるという事態が起こりうるため尿沈渣検査に用いる検体を生理食塩水にて10倍希釈して検査をする方法の有用性を確認する。有用性が確認できれば10倍希釈法も行うことにより真の検査結果により近い結果を得ることができると考えられる。
研究内容	●対象となる患者さん 尿沈渣検査が実施され細胞成分などが多く、他の成分などが見えづらい患者さん
	●利用する情報 診断名、年齢、性別、検査結果 (尿定性検査、尿沈渣検査)
	●研究方法 カルテから得られた情報により対象患者の検体を選別する。対象患者の尿沈渣検査に用いる検体を生理食塩水で10倍に希釈し、尿沈渣検査法2010に沿って検査を行う。希釈前と希釈後の尿沈渣成分を比較し、10倍希釈法の有用性を確認する。
問い合わせ先	<p>所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所：長崎市新地町6番39号</p> <p>電話：095 (822) 3251 (内線4122)</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>